



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 渡 邊 有 規 幹 事 田 原 聖 会報・雑誌委員長 伊藤 繁幸

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2882号 2020年9月1日(晴れ) 第8回例会 会員数120名 列席多数

 点 鐘 渡邊 有規会長  
司 会 副SAA 野添会員

- ◇国家並びにロータリーソング
- 新型コロナウイルス感染防止のため割愛
- ◇本日のランチ 持ち帰り弁当



ビジター紹介 倉井会長エレクト  
◇2019-20年度青少年交換派遣留学生  
栃木県立宇都宮商業高等学校 岡本 圭太 様

会長挨拶 渡邊(有) 会長

皆様、こんにちは。9月になりました。つい数日前まで30度、35度を超える真夏以上の暑い日が続きましたが、皆さま、健康は万全でしょうか。本日の新聞によりますと、日本列島、8月は1日も欠かさず、全日が気温35度以上の猛暑日があったということで、この様な観測は2012年以降初めての事だそうです。熱い8月の夏でした。私は、2015年より毎朝ウォーキングをしております。久しぶりに昨日は冷房を止めて窓を開けて寝ました。風と共に朝を迎え歩きますと、大きな秋虫の鳴き声にハットさせられました。涼やかな風も気持ちよく感じられました。

新型コロナ騒ぎで7ヶ月間、大変なおもいを皆さんと共にしてきているわけですが、必ず、時は廻ります。政界も先週の安倍晋三首相の突然の辞任により、後継を決める自民党総裁選をめくり、多くの論議が行われております。この栃木県でも11月には栃木県知事選、宇都宮市長選と続きます。新型コロナで大変な現在も、未来を見据えて、しっかりと、ロータリーのあるべき道を先輩方々に教えていただきながら模索し、行動を皆様と共にしてゆきたいと考えております。

来週は森本敬三ガバナー公式訪問です。この様なコロナの時に随行を連れずに一人できていただ

くガバナーを、心よりお迎えしたいと考えます。

来週は夜間例会、知事卓話でございます。コロナ対策を万全にして、なるべく変更無く実地したいと考えております。また、10月23日の地区大会記念ゴルフ大会は30名の参加をいただきました。大勢の参加でロータリーを応援したいと考えます。ありがとうございます。

そして、本日は、青少年交換派遣留学生として、タイに留学をしていた、県立宇都宮商業高等学校生、岡本圭太君の留学体験の講話です。楽しみにしておりました。どうぞ、よろしくお祈りします。



幹事報告 田原幹事

- ◇ロータリーレート 9月は1ドル106円。
- ◇来週、9月8日の例会は森本敬三ガバナーの公式訪問です。ガバナーからの指示により写真撮影はありません。例会終了後の第3回クラブ協議会は、森本ガバナー、湯澤ガバナー補佐、渡邊会長、私の4名で行います。
- ◇ガバナー事務所より 地区大会のご案内  
10月25日(日)地区大会本会議開催。会場は大田原の勝田屋記念館。各クラブ会長・幹事のみのお出席で、会員にはYouTubeにて配信。
- ◇うりずん及び栃木いのちの電話より寄付のお礼状が届く。



委員会報告

◇親睦委員会 黒澤副委員長

<誕生祝い・9月>

会員誕生

原 賢一、稲見 京二、小林 利延、  
小野 誠、尾野崎孝夫、櫻井 基雄、  
辻 裕司、若度 哲久、山本 修一  
各会員

夫人誕生

皆藤 美實、金澤 正邦、松山 栄、  
櫻井 基雄、鈴木 郁夫、田原 聖、  
手塚 正智、柳田 慎治  
各会員の奥様

◇スマイルボックス委員会 関副委員長  
平野利一会員  
健康で毎日散歩が出来る事に感謝。



卓 話

「タイ王国の留学体験」



2019-20年度青少年交換派遣留学生

栃木県立宇都宮商業高等学校 岡本 圭太  
皆さん、こんにちは。この度は、宇都宮東ロー  
タリークラブ様の推薦のもと、タイ王国、3350  
地区へ派遣していただきました。受入れクラブは  
ブンクムクラブで会員数は20名位です。会員の中  
にタイで会社を営んでいる日本人のロータリ  
アンがいらして、いろいろな生活支援をしてくだ  
さり、充実した生活を送ることが出来ました。そ  
れでは、タイでの生活についてお話しします。

— パワーポイント 写真にて紹介 —

#### 1. タイでの生活

- ・第一ホストファミリー タノンサック家  
ホストファザーは3350地区のガバナーで、  
ガバナーの地区訪問と一緒に行き、沢山のと  
ころに連れて行って貰いました。日本と違う年  
越しにはカルチャーショックを受けました。タイ  
で理想的とされているのは、仏教寺院の中でお  
経を唱えながら年を越すことで、必死にタイ語  
でお経の本を読み上げたのを覚えています。
- ・第二ホストファミリー ルワンギット家  
一ヶ月半お世話になりました。ホストファ  
ザーは優しく、料理好きでした。ファミリーの  
マンションにジムやプールが付いていたので、  
よく利用していました。ホストマザーの実家で、  
タイの伝統的な服を着せていただきました。

#### 2. 学校（ボディンデチャ）生活について

タイは中高一貫のような形です。ボディンデ  
チャ学校は1～6もある、タイの中でもとても大  
きな学校です。最初の日、2,500人の前でス

ピーチしたことを鮮明に覚えています。校長から  
貰った生徒の証であるバッチは宝物です。日本語  
学科に所属して楽しい時間を過ごし、異文化交流  
ができました。友達と、今でも連絡をとっていま  
す。

#### 3. 帰国時に大変だったこと、苦労したこと

新型コロナウイルスの影響で本来10ヶ月の留  
学生活が8ヶ月に短縮されました。帰りの飛行機  
のチケットを取るためにANAに電話をし、窓口  
に繋がるまで5時間かかり、何度もかけてやっと  
取れました。また、第二ホストファミリーから再  
び第一ホストファミリーへの急なホストチェンジ、  
急な荷物のパッキングにも苦しみました。

#### 4. タイの青少年プログラムについて

2019-20年度3350地区には8カ国、  
全29人のインバウンドがおりました。留学生同  
士の会話は英語で、皆、仲が良いインバウンドで、  
3350地区主催のイベントのキャンプやスポー  
ツ大会、カントリーフェア等に参加しました。

#### 5. 留学を通して学べたこと

- ・外国語を勉強としてではなく、現地で生活する  
ために学ぶことの楽しさ、またその難しさ。
- ・今の自分に必要な事をやり、今の自分に不必要  
だと思ふことにはきっぱりとNOと言う学生が  
海外にはたくさんいることが分かった。またそ  
れを高校生のうちから実行することの大切さ。
- ・クラスに留学に行っている子が複数いる、英語  
の授業のレベルがとても高い等、日本の学校と  
比べてタイの学校のグローバル性の高さ。

#### 6. 経験を通して次期派遣性をお願いしたいこと

- ・派遣前に現地の言葉と英語、どちらも手を抜か  
ずに勉強して欲しい。
- ・留学生活中は自分の思10倍、積極的に何事にも  
挑戦して欲しい。
- ・自分の嫌な事にははっきりとNOと言って欲しい。

#### 7. 派遣後 これからの目標

- ・今回の派遣で得た経験をローテックスとして次  
の派遣生に伝える。
  - ・タイと日本をつなぐような仕事をしたい。
  - ・タイ語と英語の勉強をこれからも継続して励み  
たい。
- ロータリークラブの皆様にはチャンスをいただき  
このような貴重な体験をさせていただきました。  
今回の派遣で得たこの経験を無駄にせず、また、  
タイ語、英語のスキルをこれからも伸ばし続けて  
いきたいと思ひます。

※卓話前に辻裕司会員から卓話者の紹介有り。